

# 「避難」計画より危険な火種をなくす とりくみこそ急いで

12市議会は、中村勝治市長が交通事故で入院加療中のため、安倍和海副市長を職務代理者として開かれました。

日本共産党の定岡敏行市議は、前議会に引き続き広域的避難計画を取り上げ、「そんな危険の火種はなくすが一番」と島根原発廃止へのとりくみを訴え、島根原発をめぐる『安全協定』でも、「フクシマをみれば当然の、立ち入り検査や事前同意権もない、極めて不十分」と指摘、「市民とともにいま踏ん張るとき」と強調しました。また、環太平洋経済連携協定(TPP)参加は「地域の経済と暮らしに打撃的影響」とし、野田総理の参加表明の撤回を求めよと議論しました。

松尾好行市議は、検討がすすむ第5期介護保険計画の問題点を指摘し、特別養護老人ホームの増設を求め、高すぎる国保税に苦しむ市民の声をとりあげ、払える国民健康保険へ改善を求めました。また、公民館の遅れたパソコン環境を指摘、さっそくの改善を実現しました。

# 人がつくった原発は 人がなくすことができる

## 定岡敏行市議

**定岡敏行市議** 「避難計画」は必要だが、策定中の計画で一人の被曝者もださずに住民避難ができると思うか。

「危険なものではなくす」ことが先だ。その努力なしに「事故が起きたときの対策」に終始するのは行政の責任放棄と言うほかない。

**安倍和海副市長** さまざまな課題はあるが、出来る最善策を策定したい。

**定岡敏行市議** その「出来る最善策」のなかに一人の犠牲者もださないということが入っているか。

**安倍和海副市長** それは大前提だ。境港は海もある空もある。航空機や船も視野にいれて、可能にできると思っている。

**定岡敏行市議** 空港も港も25k圏内だ。活用できるか。東に逃げる道路は431と内浜産業道路しかないが、事故が地震や津波によるものだったらどうする。

**定岡敏行市議** は、バス輸送確保や一次避難所の気密性、入院患者たち移送中の問題など、決意だけではすまない計画の非現実性を指摘しましたが、**安倍和海副市長**は「できるかどうかではなく、出来るようにしなければならぬ」とい

うにとどまりました。

また、**定岡敏行市議**は、「だとすれば、避難指揮の最前線となる市役所も30k圏内。職員は、わが身も家族も投げ捨てて、避難作業の任務に当たらなければならぬことになる」と指摘。**安倍和海副市長**は、「市民の避難が最優先だ。職員は最後だ。そういう決意でいる」と答弁。

**定岡敏行市議** なぜそんなことまでしなければならぬのか。その場になれば一生懸命にがんばられると思うが、市の職員も人間。目の前になくせるものがあるのに、なくそうとしないで、なぜ「死んでもやる！」なのか。

天災なら「一人の犠牲者のださないうでできるか」なんて言い方はしない。でも原発は違う。人がつくって人が運用している。人の社会でなくすことができるものだ。人災では一人の犠牲者だって想定してはならない。

### 自然エネルギーの構築 早急な対策も求める

**安倍和海副市長** 避難計画も急がなければならぬ。EPZもUPZにしなければならぬ。また、

ななエネルギーを供給しなければならず、ロングスパンで考えなければならぬ。

### 定岡敏行市議

だからこそ、早くとりくむことだ。ロングスパンで、行政はどう役割を果たすのか、早くそこに踏み込むことだ。

**安倍和海副市長** いまそこに原発があり、しかもUPZがいつ決まるか定かにならないなかだ。急ぐべきは、安全協定を締結し、少しでも原発立地県に近づくことが大事だと思う。

自然再生エネルギーの構築に全力を果たしていかなければならない。政府の早急な対応は求めていきたい。

## 原発協定 安全島

# 極めて不十分 あと一踏ん張りを

## 定岡敏行市議

**定岡敏行市議** 松江以上に甚大な被害を受けるかもしれない境港市民が、同意、不同意の決定に加わるのはこの世の常識だ。

協定案は極めて不十分。いまは市民の声を背に、一踏ん張り、二踏ん張りするときだ。

**安倍和海副市長** 国で防災指針の見直しはまだ。このまま安全協定もない状態は避けるべき。立地県とほぼ同じ内容であつて、現実的な対応として今後も協定内容の適宜見直しを合意の条件として締結をしたい。

**定岡敏行市議** 「ほぼ同じ内容」どころか、「立ち入り検査」事前同意がない。肝心の二点で松江市の境港革新懇主催「原発を考えるつどい」(11月20日・市文化ホール)で質問に答える。左から、吉井英勝衆議院議員、田中文也放射線技師、定岡敏行市議会議員



## 「良い議論でした」寄せられた感想

考えた方が議員の質問で鮮明となりました。福島の現実を直視すれば、そんな態度で住民の安全が守られないことは明白です。そのことが良く見えた議論でした。

安全協定案は「二歩前進じゃないかな」と思っていたが、あれで正解だ。ああいう厳しい質問がなく、議会みんなが良いがなと言っていたら、この先の交渉の足場を失う。良い後押しになったと思う。

60代男性

**日本共産党**

明るい境港  
2012. 1. 10

日本共産党境港市委員会発行  
境港市湊町55 TEL44-0039



# 介護保険

## 増える待機者 特養施設の増設を

### 松尾好行市議

#### 第5期介護保険計画

サービスを低下  
させないように

**松尾好行市議員** 要支援一・二と認定された人を介護保険サービスから除外し『日常生活支援総合事業』という市町村事業に移すというが、市はどうするのか。

**安倍和海副市長** 介護保険給付で行われる訪問・通所介護のようには、サービスの内容、介護職員の資格や配置、利用料等の全国一律の基準がないなど、不透明な部分も多く、慎重に検討したい。

**松尾好行市議** 二四時間の定期巡回・随時対応型訪問介護、看護サービスだが、事業所の介護職員・看護職員の体制はとれるか。いま施設では、一人一日あたり1

7.6回〜28.4回の介護がされているが、一日4回〜7回程度の訪問が限度、一回の訪問が20分以内となる。これで施設並みのサービスができるか。入院・入所の抑制がねらいだ。

**安倍和海副市長** モデル事業として9月より実施している。おむつ交換や水分補給など、ほとんどのケースで20分以上必要な現状がある。国においてより良い制度になるものと期待している。

**松尾好行市議** 現在は医療行為として医師・看護師に認めている「タンの吸引」などを介護職員がおこなうようになるが、そんなことでよいか。

**安倍和海副市長** タン吸引などが介護福祉士や研修を受けた介護職員が出来るように法改正が行われた。医療事故について保護制度を

もうけ、介護現場や利用者が混乱することのないよう、国が責任持つて欲しい。  
**松尾好行市議** 特養施設への待機者が増えている。特別養護施設の増設が必要だ。国庫負担割合を増やすことが求められる。

**安倍和海副市長** 施設整備の必要性は認識しているが、更なる保険料の負担となる。国の公費負担を増やすなど、介護保険財政の健全化へ適切な財政措置を講じるよう、市長会を通じて今後も提言していきたい。

衆院比例代表中国ブロック予定候補

## 石村智子 (36歳)



中林よし子さんの議席を奪還し、若者たちが希望をもてる社会へがんばります。

## 迎春

昨年はたいへんな一年でした。今年は希望が語られる年にしたいですね。でも被災地支援の遅れ、原発推進や TPP、消費税増税の動きと、相変わらずの国民犠牲の政治。市政の場でも介護保険、国民健康保険など値上げの動きです。

そして、総選挙も必至の情勢。  
日本共産党は今年も国民、市民の暮らし第一でがんばります。

2012年1月 市議会議員 定岡敏行  
市議会議員 松尾好行



## 国保税の引き下げを

## 高過ぎる国保税に 多くの市民が苦しんでいる

### 松尾好行市議

**松尾好行市議** 国保運営協議会を傍聴した。「値上げやむなし」の説明に、委員からは一般財源から繰り入れを求め意見や、税金の使い道を改め低所得者への負担軽減を望む声が語られていた。

**安倍和海副市長** 国保特別会

計の23年度決算見込みと、保険税の引き上げもやむをえない24年度以降の状況を説明し「ご意見をいただいた。  
被保険者の負担軽減のため一般会計から繰り入れを望む意見も多

かったが、不足する財源の半分以上は保険税で賄うべきとの意見もいただいた。(引き続き)活発なご議論をいただきたい。

### 一般会計から繰り入れしても

**松尾好行市議** 仕事が減り国保税が払えない。資格証明書などで体調を崩しても病院へ行けない建設業者。「高齢になり漁も減り、燃料代や船の修理代で大赤字。体はガタが来て限界だ。せめて高い国保税を引き下げて」という漁業者。高い国保税に市民は苦しんでいる。

生活実態を調査し、困っている人を救える保険にすべきだ。  
国庫支出金を元に戻すよう国に求め、一般会計から繰り入れ、国保税の引き下げを求めたい。

**安倍和海副市長** 夜間の相談も受けている。事情に応じて計画的な分納などの相談も受けている。お困りの方は、窓口にお出かけください。

国庫負担割合の引き上げなど、国の責任と負担において、実効ある措置を機会あるごとに要望している。

## 更生への妨げになりかねない

### 「問題がある」と暴力団排除条例に多くの議員が反対

市議会に上程されていた『境港市暴力団排除条例制定』は、賛成8名、反対7名(定岡、松尾、柘、岡空、永井、平松、竹安)という僅差の可決となりました。

「社会悪を許さない」というのは日本共産党の一貫した立場で、「地域から暴力団をなくし、市民生活の安全で平穏な生活、地域経済活動の健全な発展をめざす」という条例の目的は大賛成です。しかし条例は、「暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者」を、国の法律にもない「暴力団員等」として、地域社会から排除し「問題点」を指摘しています。

暴力団員なのか、やめたものなのか、何年たった者なのか、一般市民には普通わからず、これでは「暴力団を抜けて、人生をやり直そう」とする人まで地域社会から排除し兼ねません。犯罪者の更生、再犯防止の仕事をしている保護司からも懸念されています。

真に暴力団を排除しようとするなら、更生をしようとする人たちへのやささこそ大事です。これでは、その道を妨げ、暴力団へ追いやることになりかねません。

## 公民館パソコンの整備を

### 松尾市議が要求

**松尾好行市議** 境公民館のパソコン3台中、2台が故障している。古くて修理が困難だとのこと。外江と上道公民館は個人や自治会からの寄贈だ。公民館や図書館とも接続が出来るようになれば、住民への情報とサービスが向上する。整備が必要ではないか。

### 市教職が中心

**佐々木邦広教育長** 境公民館については連絡を受けて対応した。公民館のパソコン設置状況の現況調査を行ない、業務に支障を与えないよう対応したい。



写真は松尾好行市議

公民館のパソコンが更新できるよう新年度予算で要求されているそうです。  
実現すればほんとうに助かります。  
境公民館館長